

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	イクエーション 2	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

研磨剤

比較対照ボール：イクエーション

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

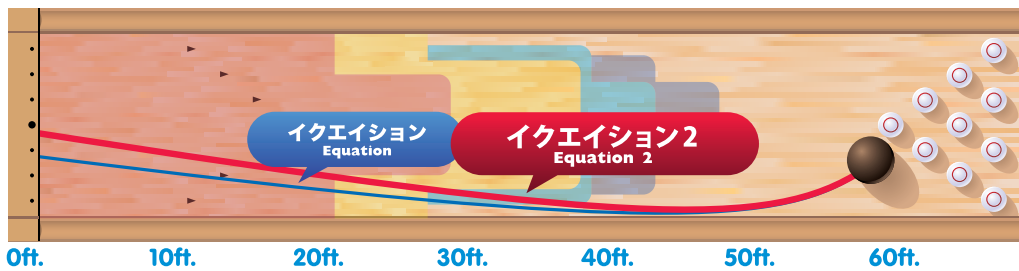
加工

ペーパー

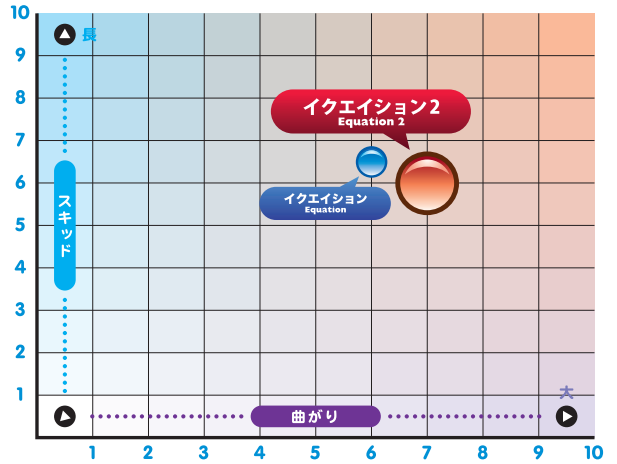
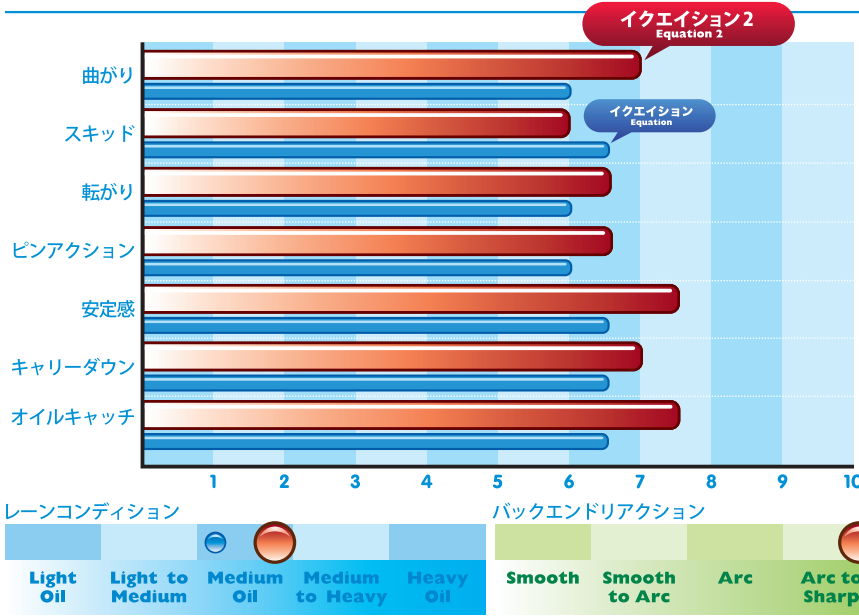
ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

初代のイクエーションはバックエンドでの過激な動きが特徴的で、採用された Goo LS Reactive カバーストックは、オイルゾーンでエネルギーを保持し、バックエンドで一気に解放させられるカバーで、安定感を追及したコアと爆発力を秘めたカバーストックとの両極端な組み合わせが絶妙なパフォーマンスを生み出しました。リアクションがオイルに左右されつつも、その激しさがかえって購入者の心をくすぐりました。

今回のイクエーション 2 は、カバーストックはそのままにバックエンドでの反応の良さを失うことなく、オイルに左右されるイメージを最小限に抑えたかたちで上陸致しました。投球したイメージはバックエンドでの過激さは多少抑えられたというよりは、**安定感が増したイメージで、使用できるコンディションの幅広さを感じました。**初代イクエーションでは激しさゆえに、そのポテンシャルを発揮できるコンディションは限られていました。しかし、このイクエーション 2 は「**スキッドさせる部分はしっかりとスキッドし、キャッチする部分はしっかりとキャッチする。**」安定感が増していますので、オイルの濃淡から置かれているコンディションまでを的確に把握できるでしょう。初代のイクエーションよりも総合的にキャッチ力は向上していますので、二つのボールの使い分けも容易に出来ると思います。メインボールの次に使えるミディアムコンディション中心の性能を是非お試しください。

特記事項 安定感が増していますが、やはり曲がりのイメージはイクエーションそのものです。イクエーションを気に入って使用して頂いた方、またイメージはそのままにそれよりもキャッチ力を求めていた方にオススメです。